

予防接種助成 追加補正 3,000円助成

補正予算
の審議

6月定例会のあらまし

平成25年第2回定例会は6月7日から24日まで18日間の会期で開催し、報告17件、諮問2件、議案29件が提案されました。

また、一般質問には議員16名が登壇し、市長及び教育委員長等の考えを質しました。

議案審議では、成人を対象に風しん予防接種費用の一部を助成する経費等を盛り込んだ平成25年度一般会計補正予算をはじめ、条例の制定や一部改正等を審議し、いずれも原案通り可決しました。

2千717万2千円を追加補正

質問 風しん予防接種の対象年齢・周知方法・助成期間は。

答弁 対象者は19歳以下23歳までの麻疹・風しんの2種混合未接種者813人・24歳以下49歳までは全員で35、099人である。助成額は1人につき3,000円である。周知方法は個別通知と事業所等にも予防対策の周知を図っていく。期間は

10月までとしているが、接種率等をみながら延長も考えていく。



対象者に助成通知書を送付

常任委員会に付託した請願2件、及び継続審査となっていた請願2件、陳情1件は、「安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願」、「公的年金2.5%削減中止の意見書提出を求める請願」を採択、「各区地域包括支援センターの人員配置を充実させ、業務の市役所本庁への集約の中止を求める陳情」を不採択としました。また、「バス交通計画についての請願」、及び前回3月定例会で特別委員会を設置した「県南広域振興局誘致についての請願」は引き続き継続審査としました。

協働のまちづくり交付金は継続

質問 協働のまちづくり交付金の執行状況はどうか。先進事例の事例発表会の機会を設けるべきと思う。また交付金は平成27年度までとなっているが継続するのか。

答弁 執行状況は平成23年度53%、平成24年度70.3%となっている。まちづくりフォーラムを開催し先進事例発表、意見交換等をしてきた。今後も継続して開催していきたい。



協働のまちづくり交付金を活用した環境整備(前沢区古城地区)

交付金制度は自立、協働で地域自治を実践していく事が重要と考えている。制度内容は検討するが、交付金は継続する。